産業廃棄物実態調査【その１①】（平成30年度実績）

調　査　票　番　号

本調査で対象とする「産業廃棄物」は事業活動に伴って生じた廃棄物のうち法令で定められた20種類及び特別管理産業廃棄物を指します。
（これらと同等のもので、業者等に有償あるいは無償で引渡している廃棄物も対象となります。）
「産業廃棄物」の具体的な内容は、別紙「廃棄物分類番号表」を参照してください。
なお、「産業廃棄物」が発生しない場合でも調査の対象となります。

《 記入上の注意等 》

１．　本調査は、平成30年度（平成30年４月１日から平成31年３月31日まで）の<u>１年間に発生した産業廃棄物を対象</u>とします。

２．　本調査は医療施設単位で行いますので、調査票が送付された病院・診療所等に関してお答えください。
　調査票が送付された病院・診療所以外に支所、分所等が所在しても、それらについては調査の対象となりません。

３．　調査票への記入に際しては、別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考にしてください。

４．　回答いただきました内容につきましては、統計数値として処理いたしますので、個々の事業所名を公表したり、調査の目的以外に使用することはありません。

締め切りは、令和元年10月25日(金)です。

医療施設の概要				
	事業所名			
	所在地	〒　　－		
	記入者氏名		担当部課	
			電話番号	（　　）　　－

事業の概要	従　業　者　数		病床数	
	貴事業所の平成31年３月31日における従業員数を記入してください。 従業員にはパート等の臨時従業員及び役員等を含みます。		平成31年３月31日における病床数を記入してください。	
	平成30年度	人	平成30年度	床

産業廃棄物の発生状況

平成30年度の１年間に貴事業所で産業廃棄物は発生しましたか。該当する番号を〇で囲んでください。

１．産業廃棄物が<u>**発生した**</u>

（『産業廃棄物』に指定されている品目を別紙「廃棄物分類番号表」に示します。
なお、事務所から発生する紙ごみ、生ごみ等は「産業廃棄物」ではなく、事業系の「一般廃棄物」です。）

【調査票その1②】に産業廃棄物排出・処理状況等を記入願います。
また、別紙【調査票その2（意識調査票）】にも回答願います。

【その1②】へ
（次ページ）

２．産業廃棄物は<u>**発生しなかった**</u>

【調査票その１】の記入はこれで終了です。
別紙【調査票その2（意識調査票）】にお進みください。

産業廃棄物実態調査票【その1②】（平成30年度実績）

●平成30年度に発生した産業廃棄物の量、処理・処分の状況についてお聞かせ下さい。
●記入にあたっては、各番号の説明書き、及び同封しました「調査票の記入要領・記入例」「廃棄物分類番号表」をご覧ください。

①事業所で発生した廃棄物の名称
貴事業所で日常使用している名称で記入して下さい。

※同じ廃棄物で処理・処分の方法が異なる場合や、処理・処分先又は再生利用先が異なる場合は、複数行に分けて記入してください（別紙 記入例参照）。

②廃棄物等の分類番号
別紙、「廃棄物分類番号表」をみて該当する4ケタの番号を記入して下さい。

③年間発生量（自社中間処理前量）
廃棄物の種類ごとに1年間の発生量を記入して下さい。
（自社内で焼却や脱水などの中間処理をする場合は、その前の量で記入して下さい。）
なお、単位は該当するものを選び、その番号に〇をつけてください。

④処理方法
自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「④自社中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

⑤自社中間処理後量
中間処理後の残さ量を記入して下さい。
なお、単位は該当するものを選び、その番号に〇をつけてください。

⑥処理・処分の方法
発生（自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物）した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「⑥処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入して下さい。

⑦処理・処分先又は再生利用先の氏名又は名称
処理・処分（⑥に該当する）等を行った先の氏名又は名称を記入して下さい。

⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地
処理・処分（⑥に該当する）等を行った処理・処分施設のある所在地を記入して下さい。

※マニフェスト伝票を参考にされる場合、「処分受託者（処分業者）」欄に記載の「氏名又は名称」を⑦に、「運搬先の事業場(処分業者の処理施設)」欄に記載の「所在地」を⑧に記入してください。

※⑥の「処理・処分の方法」で「U1」と回答した廃棄物についてのみ、⑨・⑩を記入して下さい。

⑨処理方法
委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「⑨委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

⑩処理後の処分方法
委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その記号を〇で囲んで下さい。
1. 再生利用・リサイクルしている。
2. 埋立処分している（フェニックス含む）。
3. 海洋投入している。

⑪資源化用途
⑥の「処理・処分の方法」で「V1、W1、X1、R6」又は前問 ⑩の「処理後の処分方法」で「1」と回答された場合、下欄の「⑪資源化用途コード表」から該当する番号を記入して下さい。

	自社で発生した廃棄物の発生量				自社での中間処理				自社処分・自社再利用、委託処理				委託処理				自社・委託での資源化
	① 廃棄物の名称	② 分類番号（別紙参照）	③ 年間発生量(自社中間処理前量) 百万 十万 万 千 百 十 一 小数点以下	単位（番号に〇）	④ 処理方法 1次処理 2次処理 3次処理	⑤ 自社中間処理後量 百万 十万 万 千 百 十 一 小数点以下	単位（番号に〇）		⑥ 処理・処分の方法（ｺｰﾄﾞ表参照）	⑦ 処理・処分先又は再生利用先の氏名又は名称	⑧ 処理・処分先又は再生利用先の所在地	※この欄は記入しないで下さい。	⑨ 処理方法 1次処理 2次処理 3次処理	⑩ 処理後の処分方法（番号に〇）	⑪ 資源化用途（ｺｰﾄﾞ表参照）
1				1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ			1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ				都道府県 市町村郡			1・2・3	
2				1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ			1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ				都道府県 市町村郡			1・2・3	
3				1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ			1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ				都道府県 市町村郡			1・2・3	
4				1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ			1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ				都道府県 市町村郡			1・2・3	
5				1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ			1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ				都道府県 市町村郡			1・2・3	
6				1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ			1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ				都道府県 市町村郡			1・2・3	
7				1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ			1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ				都道府県 市町村郡			1・2・3	
8				1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ			1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ				都道府県 市町村郡			1・2・3	
9				1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ			1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ				都道府県 市町村郡			1・2・3	
10				1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ			1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ				都道府県 市町村郡			1・2・3	
11				1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ			1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ				都道府県 市町村郡			1・2・3	
12				1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ			1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ				都道府県 市町村郡			1・2・3	
13				1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ			1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ				都道府県 市町村郡			1・2・3	
14				1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ			1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ				都道府県 市町村郡			1・2・3	
15				1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ			1. t 3. kg 2. m³ 4. ﾘｯﾄﾙ				都道府県 市町村郡			1・2・3	

④自社中間処理方法コード表

Ａ：焼却
Ｂ：脱水
Ｃ：天日乾燥
Ｄ：機械乾燥
Ｅ：油水分離
Ｆ：中和
Ｇ：破砕･粉砕
Ｈ：分級
Ｉ：圧縮
Ｊ：溶融
Ｋ：切断
Ｌ：焼成
Ｍ：堆肥化
Ｎ：銀回収
Ｏ：ｺﾝｸﾘｰﾄ固型化
Ｐ：滅菌
Ｑ：煮沸
Ｒ：ｵｰﾄｸﾚｰﾌﾞ
Ｓ：薬物消毒
Ｖ：濃縮
Ｗ：油化
Ｘ：選別
Ｙ：固形燃料化
Ｚ：その他

Ａ～Ｙに該当するものがない場合、④の欄に具体的な用途を直接記入してください。（枠からはみ出しても構いません）

⑥処理・処分方法コード表

＜自己処理＞

Ｗ１：売却（利益があった）した。
Ｖ１：自社（または自社他工場）で再利用した。
Ｑ１：自社（または自社他工場）の処分場で埋立処分した。
Ｚ１：自社で保管している。

＜産業廃棄物処理業者等へ委託処理＞

Ｓ１：処理業者の処分場で直接埋立処理した（フェニックス含む）。
Ｔ１：処理業者で直接海洋投入した。
Ｕ１：処理業者に中間処理（資源化・リサイクルを含む）を委託した。
Ｘ１：廃品回収（資源）業者、あるいは納入業者、関連企業等で再生処理をした。

＜その他＞

Ｚ９：その他

具体的な内容をこの欄に記入してください。

⑨委託中間処理方法コード表

Ａ：焼却
Ｂ：脱水
Ｃ：天日乾燥
Ｄ：機械乾燥
Ｅ：油水分離
Ｆ：中和
Ｇ：破砕･粉砕
Ｈ：分級
Ｉ：圧縮
Ｊ：溶融
Ｋ：切断
Ｌ：焼成（ｾﾒﾝﾄ原材料）
Ｍ：堆肥化（発酵）
Ｎ：銀回収
Ｏ：ｺﾝｸﾘｰﾄ固型化
Ｐ：滅菌
Ｑ：煮沸
Ｒ：ｵｰﾄｸﾚｰﾌﾞ
Ｓ：薬物消毒
Ｔ：金属（鉄）回収
Ｕ：非鉄金属回収
Ｖ：濃縮
Ｗ：油化
Ｘ：選別
Ｙ：固形燃料化
Ｚ：その他

Ａ～Ｙに該当するものがない場合、⑨の欄に具体的な用途を直接記入してください。（枠からはみ出しても構いません）

⑪資源化用途コード表

１０：鉄鋼原料
１１：非鉄金属等原材料
２０：燃料
２１：木炭
３０：飼料
３１：肥料・堆肥
３２：土壌改良材
４０：土木・建設資材
４１：セメント原材料
４２：再生木板・合板
５０：パルプ・紙原材料
６０：ガラス原材料
７０：プラスチック原材料
７１：再生タイヤ
８０：再生油・再生溶剤
８１：中和剤
８２：塩化鉄又は硫酸鉄原料
８３：酸またはアルカリ
９０：高炉還元
９９：その他

10～90に該当するものがない場合、⑪の欄に具体的な用途を直接記入してください。（枠からはみ出しても構いません）

注）行が不足する場合は、調査票をコピーして記入してください。なお、調査票は京都市のホームページよりダウンロードできますので、御活用ください。